



2年 | つばい まい 坪井 麻伊 さん [私立静岡県富士見高等学校 出身]

■ 願書に自分のすべてを込めてアピール

私の故郷は、世界遺産に登録された富士山麓の町。日本のシンボルであり威容を誇る富士山ですが、実はごみの不法投棄、湧き水問題など多くの課題を抱えています。「人と自然が共生できる地域づくり」、それが学べるところはどこかと探し、見つけたのが鳥大の地域政策学科。2年次に1年間かけて行う「地域調査実習」はきっと自分の糧になると感じ、高3の春には第1志望に決めていました。思いを胸に入志願書を作成。ところが「きれいに書きすぎ。もっと自分をさらけ出せ」と担任から厳しいダメ出しが。故郷への思い、鳥大で何を学びたいのか、高校生活で培った力などを具体的に表現しようと何度も書き直しました。

■ 社会問題を注視、自分の意見を持とう

2次選考対策として、新聞・TVニュースを毎日欠かさずチェック。世相問題を扱ったTVの情報番組をスクーリングに見立て、内容を要約したり自分の意見をまとめる練習も。これは課題論文対策にもつながるので、一石二鳥ですよ。大事なことは自分の地域のことをしっかり把握できているかどうか。実は論文の要はこれかも。練習の甲斐あって、本番では独自のアイデアを盛り込んで書くことができました。ディスカッションでは、自己主張ばかりでなく相手の意見を取り入れながら発言するよう気を付けました。AO入試は学力だけでは分からない「自分」を見てもらえるチャンス。自分をよく知りアピールできるようになると、試験を楽しめますよ。

■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：6人

【趣旨】多角的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献できる人間の育成を目標としています。このため、自ら学ぼうとする学習意欲を持つ人を、様々な観点から総合的に評価するためAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 様々な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
- 地域の様々な資源を効果的に活用し、発展させるための提言ができるようになりたい人

鳥取のお気に入り

ウィンタースポーツを満喫!

自然豊かな鳥取には、中国地方最高峰の大山、若桜町の氷ノ山といった有名なグレンデがあるんです。入学後に始めたスノーボードがめちゃ楽しくて、昨シーズンは何度も滑りました。

平成26年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング	地域活性化についての講義を、1名の講師が75分行い、その後、受験生との質疑応答を15分行いました。
課題論文	スクーリングの内容と新しい共生型観光に関する資料(A4版で2枚)を読み、90分で2問の設問に答えるものでした。設問の内容は、300字以内でスクーリングの内容を要約するものと、800字以内で自身の考えを記述するものでした。
グループディスカッション	1グループ6名で、「観光及び観光以外の方法による地域活性化について」をテーマとした、60分のグループディスカッションを行いました。なお、進行については、教員が行いました。
個人面接	2名の面接官による、1人あたり20分の面接を行いました。